

提出された意見等の概要及び提出された意見等に対する対応

政策等の案の名称：

No.	提出された意見等の概要	対 応		修 正 内 容 (修正したとき)
		採用有無	理 由	
1	全体について 自死未遂者への対応や自死遺族に対してのケアはどのようにしていくのか。	無	<p>自死未遂者や自死遺族に対する直接的なアプローチは、個人情報保護の観点からも難しい現状があり、広域的な対策として宮城県全体で取り組んでいる状況があります。</p> <p>美里町としては、基本施策(2)自殺対策を支える人材育成の強化における「ゲートキーパー養成講座」、(3)住民への啓発と周知として実施する「こころの健康づくり講座」等の中で、「身近な人の喪失」に伴う心身の反応について、広く学ぶ機会を作り、遺族者への適切な対応を多くの方が知ること、間接的に遺族者支援に繋がると考えています。また、相談窓口として当事者グループ等の関係団体の周知を図っていきます。</p> <p>また、当事者からの相談には基本施策(4)生きることへの促進要因への支援として、随時個別相談を実施していきます。</p>	
2	第3章いのち支える自死対策の取組 1.5つの基本施策 (1)地域におけるネットワークの強化	無	<p>当事者の方はそれぞれ抱える背景も違うため、専門職との個別相談の中で、希望があれば、ご紹介できる自助グルー</p>	

	<p>(2)自殺対策を支える人材育成の強化について</p> <p>自殺を考え、悩んだ事がある仲間が集まれる自助グループがあるとよいのではないか。自殺未遂の経験がある当事者に自死対策推進の立場で活動してもらう取組があるとよいのではないか。</p>		<p>プや活動の場がある場合はご紹介していきます。</p>	
3	<p>第3章いのち支える自死対策の取組</p> <p>1.5つの基本施策</p> <p>(2)自殺対策を支える人材育成の強化について</p> <p>相談窓口で対応する職員の資質向上や人材育成も重視してほしい。</p>	無	<p>職員研修も実施し、全庁的な取組として自死対策を推進し、「誰も自死に追い込まれることのない美里町」を目指していきます。</p>	
4	<p>第3章いのち支える自死対策の取組</p> <p>1.5つの基本施策</p> <p>(3)住民への啓発と周知について</p> <p>「自死予防リーフレット・啓発グッズの配布」について、どういったものをどこで配布するのか。予算は人材育成や経済支援などもっと効果的な物に使った方がよい。</p>	無	<p>多くの住民の方が、自死予防の視点を持ち、「誰にでも起こり得る危機」として自分や自分の周りの方の様子の変化に気づき、寄り添い、声をかけ、必要に応じて専門家に相談するという意識を持つことが、自死対策のうえで欠かせないものであると考えます。</p> <p>国や宮城県で作成し、各市町村へ配布されるリーフレットや啓発グッズを、住民の皆さんの利用される公共施設に設置する等、有効に活用していきます。</p>	
5	<p>第3章いのち支える自死対策の取組</p> <p>1.5つの基本施策</p> <p>(4)生きることの促進要因への支援について</p>	無	<p>憩いの場や住民同士の交流の場となる、地区コミュニティセンターを拠点とし、教室、講座等の学習を行っています。</p> <p>自分が身につけた知識や技術を社会に還</p>	

	<p>「生涯学習講座事業」は、どのような事を行っているのか。住民も講師役を務めることにより生きがいを感じやすくなるのではないか。町がそのような企画をしたい人の相談に乗ってくれるとよい。</p>		<p>元したいという希望を持った方に登録いただく、「生涯学習人材バンク」という制度もあり、文化活動などの生涯学習の場において指導者として活躍いただいています。</p>	
6	<p>第3章いのち支える自死対策の取組 1.5つの基本施策 (5)児童生徒のSOSの出し方に関する教育について まずは信頼できる大人の育成をする事が大切なのではないか。</p>	無	<p>教職員等の大人が気付く感度を高めるための取組や青少年教育相談員・スクールソーシャルワーカーの配置を継続していきます。 また、住民全体に対しても自死対策に関する啓発活動をしていきます。</p>	
7	<p>第3章いのち支える自死対策の取組 2.重点施策について 重点施策として「働き盛り世代への取組」「高齢者への取組」「生活困窮者への取組」の3点が挙げられているが、第2章美里町の自死の状況の4.原因・動機別の状況では「健康問題」「家庭問題」「勤務問題」が3位までになっており、「経済・生活問題」は低くなっている。重点施策とズレがあるような印象を受ける。この3つを重点施策とした理由を教えて欲しい。 原因・動機別状況で「その他」「不詳」の数値が多い。どんな背景があって自死に至ったのか、具体的に調査が必要ではないか。</p>	無	<p>重点施策は、厚生労働省及び国の機関である自死総合対策推進センターが、主に平成25年から平成29年の自殺統計及び住民基本台帳に基づく人口と国勢調査を用いて、性別や年代等の項目毎に自殺者数を集計した資料である、美里町地域自殺実態プロファイルにより推奨された項目です。市町村自殺対策計画は、地域自殺実態プロファイルに沿って策定することとされています。 美里町の自死の主な特徴として、40代から50代の有職者、60歳以上の無職者が上位である事から、重点施策として「勤務・経営者(働き盛り世代)への取組」「高齢者への取組」「生活困窮者への取組」が選ばれています。 自死の原因は、多様かつ複合的な背景</p>	

			を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きていると考えられています。また、周りの方にご本人が悩みを相談されていない場合、原因の解明は難しい場合もあります。	
8	<p>第3章いのち支える自死対策の取組</p> <p>2.重点施策</p> <p>(1)働き盛り世代対策について</p> <p>「働き盛り世代への取組」は40代を中心とした労働をしている人を想定していると推測するが、どのような状態の人へ支援をしていくのか。仕事に関する以外の事で困っている人へのサポートは受けられるのか。</p>	無	<p>地域自殺実態プロフィールから、自死者の中で40代から50代の有職者が上位であったことから、仕事に関する悩みを抱える方、仕事で忙しく町の事業に参加できない方等にも情報を届けられるよう、職域や産業保健と協力して取り組んでいきます。</p> <p>また、基本施策の中で、年齢に関わらず町民の皆さん全体に対し、困りごとに応じて各種相談の機会を設け、必要があれば関係機関へのご紹介も含め、その方の相談内容に沿った対応を行っていきます。</p>	
9	<p>第3章いのち支える自死対策の取組</p> <p>2.重点施策</p> <p>(1)働き盛り世代対策について</p> <p>健康、人間関係、就業の事等で困って悩んでいる人やそれらに起因して自殺を考えるまでに思い詰めた、組織になじめない人達に対しては、起業サポート担当とも連携していくとよいのではないか。</p>	無	<p>それぞれの相談窓口では、困りごとに応じて庁内関係課、関係機関と連携を図りながら、問題解決に向けた支援をしていきます。</p>	
10	<p>第3章いのち支える自死対策の取組</p> <p>2.重点施策</p>	無	<p>各地区で行っている集まりに、ご希望に応じて職員が出向き、講話だけでなく</p>	

	<p>(2)高齢者対策について</p> <p>介護予防普及啓発事業とあるが、パンフレット配布・講話だけでなく、実践的に取り組める活動があるとよいのではないかと。音楽を取り入れた認知機能、口腔機能の低下予防の講座など、気軽に気楽に参加できる教室を開催してはどうか。</p>		<p>体操や遊び等実践的な内容も組み込んで実施しています。各地区では地域の皆さんが工夫を凝らし、カラオケなども取り入れて楽しく集える活動をされているため、連携しながら行っています。</p>	
11	<p>第3章いのち支える自死対策の取組</p> <p>2.重点施策</p> <p>(3)生活困窮者対策について</p> <p>高齢者でもなく障害者でもないが、病気がちでフルタイムでは働けない、中途半端な状態の人の受け皿がない。その人の体調や体力に合わせて無理なく働けるような雇用機会を町で作ってほしい。</p>	無	<p>国や宮城県での広域的な対策として、様々な事情で悩まれている方へ就労サポートの取組をしています。個別のご相談の中で、ご希望があればその方に合った就労サポート機関のご紹介をしていきます。</p>	
12	<p>第3章いのち支える自死対策の取組</p> <p>3.生きる施策関連事業について</p> <p>「庁内各課の事業等で住民と係る際に、職員一人ひとりが、悩んでいる人に「気づき」、話を「聞き」、必要に応じて関係者に「つなぐ」役割を担い、包括的な取組をしていきます。」とあるが、この「聞く」は「聴く」を用いた方がいいのではないかと。</p>	有	<p>ご意見のとおり、職員が住民の方のお話を傾聴するという意味あいから、「聴く」という表記の方が正しく意図を伝えられると考え、修正します。併せて、基本施策(3)住民への啓発と周知の文中「自分の周りにはいるかも知れない自死を考えている人の存在に気づき、思いに寄り添い、声をかけ、話を聞き」の表記も、「話を聴き」に修正します。</p>	<p>15 ページ「庁内各課の事業等で住民と係る際に、職員一人ひとりが、悩んでいる人に「気づき」、話を「聞き」、必要に応じて関係者に「つなぐ」役割を担い、包括的な取組をしていきます。」を、「庁内各課の事業等で住民と係る際に、職員一人ひとりが、悩んでいる人に「気づき」、話を「聴き」、必要に応じて関係者に「つなぐ」役割を担い、包括的な取組をしていきます。」に修正します。</p> <p>10 ページ「自分の周りにはいるかも知れない自死を考えている人の存在に</p>

				<p>気づき、思いに寄り添い、声をかけ、話を聞き、必要に応じて専門家につなぎ、見守っていくという自死対策における住民一人ひとりの役割等についての意識が共有されるよう、啓発事業を展開していきます。」を、「自分の周りにはいるかも知れない自死を考えている人の存在に気づき、思いに寄り添い、声をかけ、話を聞き、必要に応じて専門家につなぎ、見守っていくという自死対策における住民一人ひとりの役割等についての意識が共有されるよう、啓発事業を展開していきます。」に修正します。</p>
--	--	--	--	---